

[成果情報名]暗期中断処理により開花調節可能な赤色夏秋小ギク有望系統「長崎小ギク1号」

[要約]「長崎小ギク1号」は、電照による暗期中断処理により花芽分化の抑制が可能で、8～9月の需要期に出荷できる。花色は濃赤色で、フラワーフォーメーションは花束に加工しやすい形状である。

[キーワード]夏秋小ギク、長崎小ギク1号、赤色、電照栽培

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[連絡先](代表)0957-26-3330 (直通)0957-26-4319

[区分]花き

[分類]普及

[作成年度]2012年度

[背景・ねらい]

沖縄県や鹿児島県の一部を除く国内ほとんどの小ギク生産は、5月から1月の開花作型において、自然開花期が異なる数十、数百品種を継続的に栽培し、安定的に市場に供給しているのが現状である。これでは親株管理や栽培管理が煩雑になり、栽培面積の拡大が難しくなる。また、高温期には、気象条件により開花期が変動し、計画的に出荷できないなどの問題が発生している。

そこで、電照により花芽分化を抑制し、開花を調節することで、7～9月出荷作型すべてに栽培が可能で、需要期に安定生産ができ、市場評価の高い品質を有する夏秋小ギク品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 夏秋小ギク系統「長崎小ギク1号」は、長崎県農林技術開発センターの栽培圃場において、2009年に自然交雑により得られた実生の中から選抜した系統である。
2. 花色は濃赤色(RHSカラーチャートRED-PURPLE GROUP 59-A)である(写真1)。
3. 4月上旬に定植し、電照処理を行わず、自然日長で栽培すると、長崎県内では7月上旬に開花する(表1)。
4. 4月上～下旬に定植し、定植～6月上旬まで電照による暗期中断処理をすることで、節数が20節程度増加し、開花期を7月下旬～8月上旬に抑制できる(表1、表2)。
5. 県内産地の8月出荷作型主要赤色品種である「こずえ」と比較するとフラワーフォーメーションが異なり、「こずえ」の4に対し、「長崎小ギク1号」は1～2であり、花束に加工する際、処理しやすい形状である(表3、写真1)。長崎県切り花標準出荷規格での最上位規格は、草丈80cm、調整重量50gであり、切り花長は109.6cmと問題ないが、80cm調製重は47.4gとやや軽い(表3)。
6. 5月下旬から6月中旬に定植し、定植～7月下旬まで電照による暗期中断処理をすることで、開花期を9月上旬まで抑制できる(表4)。フラワーフォーメーションは1であり、花束に加工する際、処理しやすい形状である(表4)。センターと現地試験の切り花長と現地試験の80cm調製重64.1gは問題ないが、センターでの試験で90cm調製重が52.9gとやや軽い(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 2012年の現地での小規模試作の結果、生産者から色やフォーメーションの評価が高く、2013年に長崎県内で大規模試作を行い、品種登録出願を行う予定である。
2. フラワーフォーメーションに対応した規格(80cm調製重)の検討が必要である。
3. 2012年は、全国的に8月出荷作型の開花が前進化し、7月に開花盛期を迎えた産地が多い年である。

[具体的データ]

表1 無電照栽培による「長崎小ギク1号」の収穫日および節数(2012年)

試験場所	圃場条件	電照処理	定植日	平均収穫日	節数(節)
佐世保市生産者圃場 ^{※1}	露地	なし(自然日長)	4月9日	7月5日	32.0

※1) 標高300m付近。



写真1 開花状態の「長崎小ギク1号」

表2 電照栽培による8月出荷作型における「長崎小ギク1号」の収穫日および節数

試験場所	試験年次	定植日	消灯日	収穫日	節数(節)
諫早市(農技セ) ^{※1}	2011年	4月25日	6月9日	8月5日	51.0
	2012年	4月13日	6月3日	7月21日	50.0
壱岐市 ^{※2}	2012年	4月5日	6月6日	8月3日	55.6

※1) 木柱平張施設(被覆は1mm四方の防虫ネット)内で試験。光源は白熱灯で、22:00~3:00の暗期中断処理。
 ※2) 露地で試験。光源は蛍光灯で、22:00~2:00の暗期中断処理。

表3 電照栽培による8月出荷作型における開花特性(2012年・農技セ)

品種名	切り花長 (cm)	節数 (節)	枝数 (本)	花蕾数 (個)	80cm 調製重 (g)	フラワー フォーメーション ^{※1}	消灯後	
							草丈伸長 (cm)	増加節数 (節)
長崎小ギク1号	109.6	50.0	15.0	33.4	47.4	1~2	48.5	25.8
こずえ(対照)	114.7	36.7	6.3	63.0	57.3	4	42.7	0.7

※1)

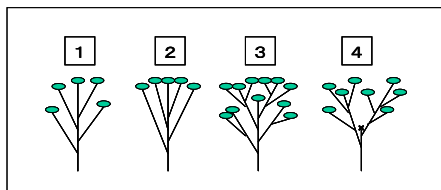


表4 電照栽培による9月出荷作型における「長崎小ギク1号」の収穫日および開花特性

試験場所	試験年次	定植日	消灯日	収穫日	切り花長 (cm)	節数 (節)	フラワー フォーメーション ^{※1}	90cm 調製重(g)	80cm 調製重(g)
諫早市(農技セ) ^{※1}	2011年	6月22日	8月1日	9月17日	101.0	56.1	1	52.9	-
佐世保市 ^{※2}	2012年	5月28日	7月21日	9月14日	96.3	53.7	1	-	64.1

※1) ビニールハウス内で試験。光源は白熱灯で22:00~3:00の暗期中断処理。摘心した苗を定植。
 ※2) ビニールハウス内で試験。光源は蛍光灯で22:00~2:00の暗期中断処理。

[その他]

研究課題名：省力・低コスト推進品種育成事業
 予算区分：県単
 研究期間：2011~2013年度
 研究担当者：峯 大樹、岳田 司